

4月 本社・技術開発部門

NMR装置が文部科学大臣表彰「科学技術賞」を受賞

当社が国立研究開発法人物質・材料研究機構、国立研究開発法人理化学研究所および株式会社JEOL RESONANCEと共に開発した、世界最高磁場のNMR装置(1020MHz)が、平成28年度文部科学大臣表彰において、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な功績をあげた者に与えられる「科学技術賞」を受賞しました。

※NMR装置:物質へ磁場をかけて分子構造を調べる装置



NMR装置外観

6月 電力事業部門

真岡発電所 建設工事開始

栃木県真岡市での発電所建設プロジェクトでは、環境アセスメントが今年5月に完了し、6月より本格的な建設工事を開始しました(2019年後半稼働予定)。

真岡発電所
最終完成イメージ図神戸製鋼所
真岡製造所

8月 アルミ・銅事業部門

米国での自動車向けアルミ押出・加工品の製造・販売会社建設開始

北米での自動車向けアルミ押出材(バンパー材や骨格材など)の需要拡大が見込まれる中、米国ケンタッキー州で自動車向け押出製品の溶解から加工までの一貫生産拠点の建設を開始しました。2017年後半には加工工程の稼働を開始し、2018年後半に溶解・押出工程の稼働を順次開始する予定です。当社グループは、現在、日本でアルミ押出・加工品を8基の押出プレス機で生産していますが、本拠点の稼働後は、1基増えて合計9基の押出プレス機で生産することになります。

積極的な軽量化提案を通じて、現地のお客様の信頼を獲得すると共に、日米両極でのアルミ押出・加工品の供給体制を強化していきます。



航空機着陸装置用チタン大型鍛造品

7月 鉄鋼事業部門

エアバス最新鋭機向け
チタン大型鍛造品の量産供給開始

当社は、エアバス社の最新鋭中型機「A350 XWB」の着陸装置(機体を地上で支える車輪・緩衝装置)に使用されるチタン大型鍛造品の量産供給を開始しました。

今回、量産供給を開始した製品は、当社・日立金属株式会社等との合併会社である日本エアロフォージ株式会社が鍛造工程を担当し、当社がそれ以外の工程および製品の工程設計、品質保証を担います。

当社は、60年以上にわたる航空機産業への豊富な供給実績を活かした品質・工程・設計技術に加え、日本エアロフォージ株式会社が持つ最先端の鍛造設備により、高品質のチタン鍛造製品を世界の航空機産業向けに供給していきます。

当社ホームページではこのほかにも、様々なトピックスをご紹介します。 <http://www.kobelco.co.jp>

株式に関するご案内

「特別口座」について

現在株券をお持ちの株主様や、以前株券をお持ちで現在株券の所在がわからなくなった株主様は、「特別口座」で管理されている可能性がありますので、三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください(お問い合わせ先は右ページに記載しております)。「特別口座」では単元株式の売買はできません。証券会社にお預けでない株式について、証券会社の口座に移管することをお奨めします。

※「特別口座」とは、平成21年1月の株券電子化の際に、証券会社にお預けされていない株式を管理するために、当社が開設した口座のことです。

株式の併合および単元株式数の変更について

本年10月1日に当社株式について、10株を1株に併合するとともに、単元株式数を1,000株から100株に変更しました。株式の併合の結果、端数株式(1株に満たない株式)が生じた株主様につきましては、全ての端数株式を法令に基づき、当社が一括して処分し、その代金を端数が生じた株主様に対し、端数の割合に応じてお支払いします。当該代金の各株主様へのお支払いは、12月上旬に開始する予定です。